

令和4年度

第5回 大笹生支援学校公開研究会

12月9日（金）に、地域の小学校や特別支援学校等から14名の参加をいただき、第5回公開研究会を開催しました。今年度は、本校校内研究で取り組んでいる「学習や生活の場面で活用できる！生きて働く力を育む授業づくり～「教科等横断的」な視点を踏まえて～」をテーマとして掲げ、研究概要説明や分科会を通して、地域から参加の先生方と校内教員全員で、共に学び合う機会となりました。

< 研究概要説明 >



本校研修部部長 菅より、研究の概要についてお話しさせていただきました。「教科等横断的な視点に立った資質・能力の育成」を目指し、各教科等で育む資質・能力を明確にしながら、身に付けた資質・能力を活用・発揮する場面を想定した授業づくりに取り組んでいる研究の概要を説明しました。



参加者の声

学んだことが様々な場面で生きよう、つながりを意識して指導することが大切だと感じました。



参加者の声

様々な学校種、学部の話の先生の話の話を聞くことができ、とても有意義な協議でした。

< 分科会 >

資質・能力を活用・発揮することを想定した授業づくりについて、多くの意見を交わしました。

【公開分科会①】小学部

- 話題提供者 藤泉沙彩 教諭
- 協議テーマ

「教科等横断的な視点で育む『自分からかかわる力』～遊びの指導を中心として～」

【校内分科会④】小学部

- 話題提供者 堀江満恵 教諭
- 協議テーマ

「客観的に自分を振り返り、ことばで伝える力を育むためには」

【公開分科会②】中学部

- 話題提供者 藤田俊之 教諭
- 協議テーマ

「相手の気持ちを考えられる姿について～集団の中で身に付けるための授業場面を考える～」

【校内分科会⑤】中学部

- 話題提供者 西山仁美 教諭
- 協議テーマ

「教師の話聞いてやりとりをしようとする姿を目指して」

【公開分科会③】高等部

- 話題提供者 江川智子 教諭
- 協議テーマ

「言葉で伝える力を育むための授業づくりの工夫」

【校内分科会⑥】高等部

- 話題提供者 伊澤佳子 養護教諭
- 協議テーマ

「子どもたちが生涯にわたって適切な対人関係や性関係を保障されるために必要な『生きて働く力』はどのような力か？」他

< 講演会 >

演題 「教科等横断的な視点で子どもの力を育む授業づくり」
講師 独立行政法人国立特別支援学校教育総合研究所

研究企画部主任研究員 北川貴章 氏

校内教員は12月26日（月）に、また地域からの参加者は12月27日（火）～1月31日（火）の期間に動画配信による講演会を行いました。各分科会の話題を例として、授業づくりをする上で教科の特質を踏まえることが必要であることや知的障がいのある児童生徒の学習上の特性を踏まえて教科等横断的に資質・能力を育むことの大切さ、教科学習等の下支えとなる自立活動について等、多くの示唆をいただきました。



本研究会を通して、教科等横断的な視点で授業づくりをすることや身に付けた資質・能力を活用・発揮することを想定した授業づくりについて、地域の先生方から貴重なご意見をいただきました。校内教員にとっても、学部を超えて学び合うよい機会となりました。本研究会で得たものを日頃の授業に生かし、今後もよりよい授業を展開できるように取り組んでいきたいと思っております。